

ブランドニジマス「紅富士」供給体制の強化

(新成長戦略研究 大型ブランドニジマスの遺伝育種と供給体制の強化)

(予算区分 県単独 研究期間 平成29～31年度)

担当：水産技術研究所富士養鱒場 鈴木基生・鈴木邦弘・佐藤孝幸・平井一行
開発加工科 望月万美子・倉石 祐

【研究の背景とねらい】

- ・ 富士養鱒漁業協同組合が生産している「富士山の湧水が育てた大々鱒 紅富士」のブランド構築に取り組んだところ、身色の良さ、うま味の濃さなど、輸入サーモンとの差別化ポイントが明らかになりました。
- ・ そこで、「紅富士」の輸入サーモンとの差別化ポイントを強化し、販売戦略を推進します。特に「紅富士」のアスタキサンチンの豊富さ等に着眼し、機能性表示食品の取得を目指します。
- ・ さらに、需要の増加に対応するため、供給体制を強化します。各養殖業者が得意とする飼育サイズごとに生産ステージを受け持つ「分業化」を推進します。



図1 大型ブランドニジマス「紅富士」パンフレット

機能性表示食品の取得
・ アスタキサンチンなど



図2 「紅富士」の刺身

【期待される効果】

- ・ 機能性表示食品の取得と生産の効率化により供給体制が強化されます。
- ・ 紅富士の供給量を平成25年の27トンから、約4倍となる年間100トンに増加させます(平成34年度)。

【年次計画】

小課題名 ※新成長は細目課題名	研究年度			研究内容
	29	30	31	
1. 差別化ポイントの強化	○	○	○	輸入サーモンとの差別化ポイントのうち、色の良さやDHA含有量の多さ等に着眼して機能性表示食品の取得を目指します。
2. 輸送技術の開発	○	○	○	大型種苗の取上げと大量輸送技術を開発します。
3. 分業化に向けたシミュレーション及び実証	○	○	○	個々の養殖場の特性を活かした最適な分業化について、シミュレーションと実証試験により検証します。

(作成 平成29年4月)